

## 平成30年度公益社団法人朝日町シルバー人材センター事業計画

はじめに

我が国の総人口は約1億2,700万人となっている。しかし、35年後には1億人を割ると推計されている。65歳以上の高齢者人口は約3,460万人となり、総人口に占める割合（高齢化率）も27.3%となった。富山県の高齢化率は全国平均よりも高く30%を超えている。

朝日町においては少子高齢化が進展し、40%を超える超高齢化社会となっており、労働者人口が減少している面からも、今後ますます高年齢者の就業が欠かせない状況になっております。

定年延長と雇用契約の延長に伴い、団塊の世代が労働市場から退出してきているにも関わらず、新規の入会者数は前年度程度と低迷しております。そのため、仕事の依頼が増えている状況下で、全てのニーズに対し対応できていないのが現状であります。

全国シルバー人材センターの会員数は、平成21年度をピークに毎年減少を続けており7年連続して減少となっております。しかし、大幅に増加した拠点センターもあり、その取組等を参考に会員拡大に向けて努力するとともに、センターが高齢者の受け皿としての機能を十分に果たし、地域社会の期待に応えたいと思います。

### 事業実施計画

#### 1 目標値の設定（5ヶ年中期計画数値）

- |               |          |
|---------------|----------|
| (1) 会員数       | 145人     |
| (2) 契約金額（請負分） | 53,200千円 |
| (3) 就業実人員     | 133人     |

#### 2 安全・適正就業の推進

安全適正就業委員会及び職群班長・グループ長を中心に安全就業に関する取り組みをさらに強化します。

ペナルティー制度導入については、会員就業規約及び作業別安全基準の改正について、班長・グループ長会議において議論され承認されました。今後、会員の自覚性と併せて安全就業の指導周知を徹底していきたいと思っております。

特に、草刈り班では飛び石による事故が頻繁に発生することから、定例の安全講習会の他に、事故発生の都度安全対策について研修会を開催します。

事故対策及び指導については、繰り返し話しをしていくしかないと思うので、事故が無くなるまで、会員の意識改革に努めてまいります。

作業現場の安全パトロールについては、内容・回数の充実に努め、今年度も委員会を中心に周知徹底を図り注意喚起に努めます。また、各職群班の安全講習会、技能講習会を開催します。

次に、国の作成した適正就業ガイドラインの周知については、一般家庭及び事業者に対し順次案内をしていきます。働き方にかかる重要な指針であるため、会員はもちろんのこと役員、事務局員併せてガイドラインに沿った業務運営に努めます

### 3 就業機会の確保及び会員拡大の推進

近年、順調に伸びていた会員数が減となりました。会員数の増員が見込めなかったことにより、長期契約の仕事依頼に対して対応ができませんでした。

今後、会員拡大に向けて組織的に強化を図るよう努力をしていきます。

#### (1) 会員の拡大

① センターの広報誌「あさひ」並びにホームページによる、独自事業等の紹介及び事業内容のPRに努めます。

② 町広報誌及び各新聞社の折り込みチラシによる会員募集等の周知啓発を図ります。

③ 役員、地域活動委員会及び「女性会員の集い」等による、口コミ作戦を強化し入会促進を図ります。また、超高齢者等の会員継続については身体に負担のかからない軽度の就業を紹介する等の面接を行い、人材確保に努めます。

④ 清掃仕事の依頼が多いため会員向け講習会を開催し、会員の育成や技能のレベルアップを図ります。

#### (2) 就業機会確保事業

##### ① 高齢者活用・現役世代サポート事業の拡充

この事業がスタートしてから4年目を向え、年々新規の契約者は増えていきます。しかし、解約になったり就業回数が減る事業所もあります。

近年、サービス業等の人手不足分野の事業所や公共施設に係る町担当課に対し営業活動を実施しながら、就業機会の開拓に努めます。併せて、入会者の拡大を図ります。

② 家事援助作業にかかる受注促進を図る

介護保険者に係る家事支援のニーズが、今後増えることが予想されます。町とも連携しながら受注拡大を図り、高齢者会員の就業拡大を図ります。

4 独自事業の推進

高齢者会員の受け皿としてもこの事業を継続するよう関係機関等に働きかけていきたいと思ひます。

(1) 買い物支援移動販売事業

町の委託事業として再スタートしてから2年目となります。まめなけ市場の商品も併せて4地区7町内を週に1回移動販売をしております。

移動販売に合わせて一人住まいの家に声掛けをしたり、買い物袋を家まで持ってあげたり、福祉的役割の一端も担っています。

今後、さらにスキルを高めて、地域ニーズに対応できるよう努めていきたいと思ひます。

(2) 認知症カフェ事業<オレンジカフェほっとアイリス>

開設4年目を向えます。参加者が30名を超えることが多くなり、サポート役の就業会員と指導者は、現状に満足することなく充実した内容及び参加者への対応を向上させたいと思ひています。今年度は他の施設の視察研修を行う予定であります。

(3) 軽度生活援助事業

介護サービスを優先とする難しい一面がありましたが、ようやく昨年度より、就業を開始しております。介護的福祉サービスの家事支援は、今後ニーズが増えると思ひるので、常時対応ができるように努めたいと思ひます。

(4) 農産物の生産及び販売

センター農園で会員が栽培した葉物野菜、冬場の大根、ねぎなどの季節野菜をセンターのフロアーにて販売しています。特に、サロンを利用する方々に買っていただいております。

昨年、農産物実行委員会がこの野菜を利用して初めての芋煮会を開催し、会員はもちろん町民の皆さんにも多くの方に味わっていただきました。

(5) ふれあいサロン<アイリス>の開放

各種団体及びサークル活動等の拠点として、地域住民の触れ合いの施設とし

て定着しております。さらには、認知症カフェ等受託事業もこの場所で開催しております。

#### (6) その他の事業

##### ① 古本の貸出し。

サロン「アイリス」前のフロアを利用し、古本の無料貸出しをしています。

##### ② 女性会員の集い

約 50 名の女性会員を対象に昼食会を兼ねて、いろいろな情報を吸収できる場として、また、楽しい憩いの場として年 1 回開催しております。

##### ③ 正月用の門松造り

日頃お世話になった事業主等に、特大の門松を安価で販売。

年末には、地元「なないろ館」の朝市にて販売しています。特に、一般家庭用のミニ門松が人気商品である。

##### ④ 刃物研ぎ

使い慣れた包丁、ナタ、鎌、剪定鋏等の研磨をしています。近年は、リピーターが多くなり非常に喜ばれています。

##### ⑤ 布ぞうり編み教室の開催

会員有志の協力により、昨年よりロコミで開催し、今年は一般公募によりサークルの輪を広げていきたいと思えます。

他「地域社会貢献」の一環とする「シルバーの日」に、草刈り等奉仕活動をおこないます。

#### 5 事務局体制の充実

多様化するシルバー事業に対応するため各種研修会等に参加し、いろいろな観点から物事を考え判断できるよう職員の資質向上を図ります。また、適正就業に係る事業運営の徹底を図るよう体制づくりに務めます。